



学校の力を地域へ



『とちぎ未来アシストネット事業』は、地域の方が生涯学習で身につけた知識や技能・経験を活かし、子どもたちの学習を支援する『学校支援ボランティア』を核としています。栃木市内全域で取り組んでおり、西方地域においても西方地域教育協議会が推進役となって3校で積極的に行っています。

また、この事業は、地域から学校への一方的な支援ではなく、子ども達が地域行事や奉仕作業等のボランティア活動に積極的に取り組むなど、双方向的なものとなっています。しかし、コロナ禍のため、子どもたちによる地域活動がなかなかできませんでした。

そこで、今回は特別号として、地域の皆さんが、学校や子どもたちを積極的に応援している様子を紹介します。



FM くらら857「アシストネットレディオ」 西方アシストネット地域教育協議会 荒川里子さん

R3.7.19放送 出演

○自己紹介（私の関わり）

西方地域の小中学校において、学校支援ボランティア活動を行っています。また、児童・生徒が学校を出て、地域の活動に参加する際の支援をしています。ボランティアを始めたきっかけは、PTA 活動や学校から依頼があったことです。具体的には、リコーダーやハンドベルの指導等々です。

○西方地域のアシストネットについて

①「地域から学校へ」の取組みについて

- ・文化協会・公民館とのつながりから学校支援ボランティア活動の輪を広げています。
- ・アシストネット地域教育協議会においては、「小中一貫教育」・「研修・活動」・「広報」の3部会を設けて活動を推進しています。
- ・広報部では「にしかたアシストネットだより」を作成し、地域の皆様に活動の様子をお知らせしています。
- ・地域の方が学校とより連携して子どもたちの教育に関わりやすくなりました。

②ボランティアの育成について

- ・PTA の存在が大きいです。今後も、ご協力をいただければと思います。
- ・「にしかたアシストネットだより」を通して理解を深めていただき、自らボランティアとして参加するきっかけとなるようにしています。
- ・学校支援ボランティアには、琴のような専門性が必要なものもあり、公民館講座などで、興味を持った方に学んでいただき、ボランティアに参加していただいた例などもあります。

③「学校から地域へ」について

小中学生には学校から地域へということで、子ども夏まつりやスポーツフェスティバル・文化祭、どんど焼きなど、様々な地域のイベントにおいて積極的に発表したり、スタッフなどとして活動したりして、活躍いただいています。



がんばれにしかたっ子「サプライズ花火」 にしかたわくわく隊・にしかた子どもネットワーク

にしかたわくわく隊・にしかた子どもネットワークは、西方地域2カ所でサプライズ「花火」を打ち上げ、子どもたちへエールをおくりました。

☆西方の夜空

★
花火 Show!

R3.8.8(日)

西方公民館サポート事業



コロナ禍で、いろんな祭りや行事が中止になってしまった中で花火だったのでとても感動しました。来年は行事や祭りをやってほしいです。

西方中 2年 伊藤 秀虎 さん

8月8日の花火は、ご飯を家族で食べていた時に、花火を打ち上げる音がすることに気づいて姉と二人で2階に行ってみました。予想以上に大きい花火が上がっていてとてもきれいでした。花火は夏でしかできないので、特別感があり嬉しかったです。

西方中 2年 中山 咲季 さん

※この事業は、自治会協賛金を活用させていただきます。



花火師さんの準備

役員さんの打合せ

花火あとのクズ拾い



編集：西方アシストネット地域教育協議会 令和3年11月発行
印刷：にしかたわくわく隊・にしかた子どもネットワーク
問合せ：栃木市教育委員会 西方公民館 ☎ 0282(92)0316

